

「建具とガラスの組み合わせ」による開口部の熱貫流率と日射熱取得率（非木造・住宅用）

株式会社LIXIL

算定対象となるエネルギー消費用途：暖冷房(外皮:開口部の熱貫流率と日射熱取得率)・玄関ドア・引戸(大部分がガラスで構成されない開口部)

こちらの対象製品性能一覧は、一般社団法人住宅性能評価・表示協会運営の「温熱・省エネ設備機器等ポータルサイト」に登録済みです。  
下記製品は構造・形状等での性能確認が可能であるため、上記ポータルサイトにおける性能確認区分は全て「－」となります。

枠の仕様	戸の仕様			ガラスの仕様	ガラス中空層の仕様 ※4	開口部の熱貫流率[W/(㎡K)] ※5		開口部の日射熱取得率[η]		LIXIL適合商品 ※袖付、ランマ付は適合しません
						付属部材なし	風除室あり	付属部材なし	風除室あり	
金属製※1	金属製フラッシュ構造	ポストなし	ドア内ガラスなし	—	—	2.33	1.89	0.08	0.06	NXP II (防音・断熱型)、NT II (防音・断熱型)、NE (防音・断熱型)、BL II (BLA、BLB 1型、BLB S型)、クルージュT(T-1仕様)
			ドア内ガラスあり	Low-E複層/複層	ガス層/空気層:中空層厚問わない	2.91	2.26	0.10	0.08	—
		ポストあり	ドア内ガラスなし	—	—	2.33	1.89	0.08	0.06	NXP II (防音・断熱型)、NT II (防音・断熱型)、NE (防音・断熱型)、BL II (BLB 1型、BLB S型)
			ドア内ガラスあり	Low-E複層/複層	ガス層/空気層:中空層厚問わない	2.91	2.26	0.10	0.08	—
	金属製ハニカムフラッシュ構造	ポストなし	ドア内ガラスなし	—	—	2.91	2.26	0.10	0.08	NXP II (標準型)、NT II (標準型)、NE (標準型)、BL II (BLB 3型)、クルージュK、クルージュT (標準仕様)
			ドア内ガラスあり	Low-E複層	ガス層/空気層:中空層厚問わない	3.49	2.59	0.12	0.09	—
				複層	空気層:8mm以上	3.49	2.59	0.12	0.09	
				単板	空気層:8mm未満または不明	4.07	2.90	0.14	0.10	
		ポストあり	ドア内ガラスなし	—	—	2.91	2.26	0.10	0.08	NXP II (標準型)、NT II (標準型)、NE (標準型)、BL II (BLB 3型)、クルージュK、クルージュT (標準仕様)
			ドア内ガラスあり	Low-E複層	ガス層/空気層:中空層厚問わない	3.49	2.59	0.12	0.09	—
				複層	空気層:中空層厚問わない	4.07	2.90	0.14	0.10	
				単板	—	4.07	2.90	0.14	0.10	
	金属製またはその他	ポストなし	ドア内ガラスなし	—	—	6.51	3.95	0.22	0.13	—
			ドア内ガラスあり	Low-E複層/複層	ガス層/空気層:中空層厚問わない	6.51	3.95	0.22	0.13	
単板				—	6.51	3.95	0.22	0.13		
ポストあり		ドア内ガラスなし	—	—	6.51	3.95	0.22	0.13		
		ドア内ガラスあり	Low-E複層/複層	ガス層/空気層:中空層厚問わない	6.51	3.95	0.22	0.13		
			単板	—	6.51	3.95	0.22	0.13		

※1 「金属製熱遮断構造」の枠を除く。「金属製熱遮断構造」の枠とは、金属製の枠の中間部に樹脂等の断熱性を有する材料で接続した構造の枠をいいます。

※2 「金属製フラッシュ構造」の戸とは、金属製表裏面材の中間に断熱材を充填した構造の戸をいいます。

※3 「金属製ハニカムフラッシュ構造」の戸とは、金属製表裏面材の中間の密閉空気層を紙製又は水酸化アルミニウム製の仕切り材で細分化した構造の戸をいいます。

※4 「ガス」とは、アルゴンガス又は熱伝導率がこれと同等以下のものをいいます。

※5 国立研究開発法人建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報」の熱貫流率及び線熱貫流率

(ドア等の大部分がガラスで構成されない開口部)の熱貫流率の表及び風除室に面する場合の計算式によります。

なお、本表は、一般社団法人 日本サッシ協会のホームページでも確認できます。

<https://www.isma.or.jp/Portals/0/images/sash/giutu/20-0502.pdf>